

椿小学校で河川環境学習を開催しました。

椿小学校 3・4 年生の児童を対象に、椿川の水質調査や水生生物の河川環境学習を実施しました。

【実施概要】

日 時：平成 23 年 8 月 31 日（水） 9：35～11：40

場 所：[水生生物採集] 椿川 [水質調査] 椿小学校 ワークルーム

参加者：椿小学校 3・4 年生 9 名

南部総合県民局阿南庁舎 1 名

フジタ建設コンサルタント 5 名

内 容：1 椿川の水生生物の観察・指標生物による水質判定

2 椿川の水質調査：COD 測定、透視度測定

感 想：学校の近くの椿川で、オヤニラミや、たくさんの魚をつかまえることができおどろきました。水槽の魚を近くで観察して、魚シートや図鑑で名前を調べました。

水質測定では、吉野川の水より椿川の水がとてもきれいなことが分かり、だから魚がたくさんすんでいるのだと思いました。

人が川を汚していることを知って、自分たちもできるだけ川を汚さないようにしていきたいと思いました。

【活動状況】

○水生生物の採集

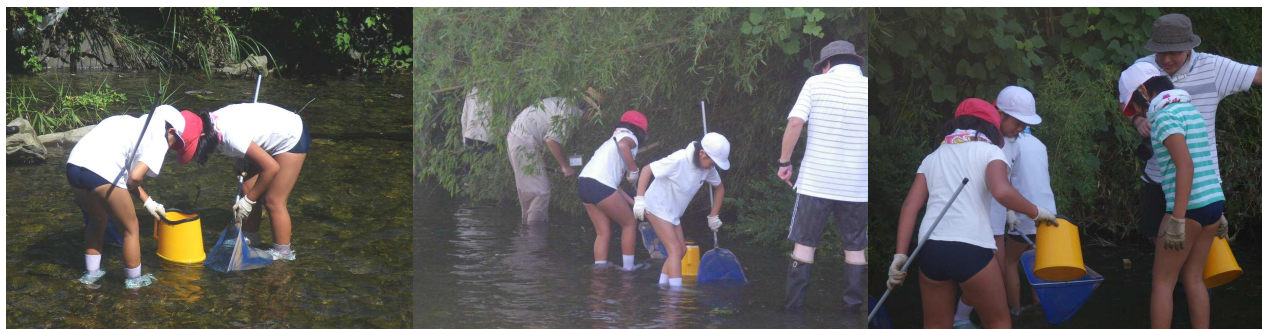
水生生物の採集の仕方と注意点の話を聞いた後、実際に川の中に入って水生生物を採集しました。



はじめは川の真ん中で網を動かしていた児童もだんだんと慣れていくうちに、上流側や川岸の草の生えているほうに移動するなど、とても積極的に活動していました。



友達の採集した魚を見て意欲が湧き、指導をうけながら、たくさん採集することができました。



バケツに入った魚を恐る恐る触り、「ぐにゃっとしてる」と笑顔で友達と話す姿が見られました。採集した魚たちはバケツに入れ、皆で手分けをして、待ちきれない様子で学校まで運びました。



○水生生物の観察・指標生物による水質判定

持ち帰った水生生物は水槽に入れ、魚シートや図鑑を見て種類や名前を調べたり、アドバイスをもらって調べなおしたりするなど、全員が熱心に取り組んでいました。

指標生物ではコオニヤンマ・ヒラタドロムシ・カワニナなどが多く採集されたため、椿川の水質は指標Ⅱ（ややきれいな水）であることが分かりました。



○椿川の水質調査：COD測定・透視度測定

椿川と吉野川の水質を比較しました。パックテスト COD(化学的酸素要求量)の測定結果は、吉野川4に対し椿川は2になり、水質では椿川のほうがきれいであることが分かりました。



また、透視度測定の結果は、吉野川 31~49cm に対し椿川は全員 130cm と一番底まで見ることができ、椿川の水はとても澄んでいるということが確認されました。



最後に、生活排水が川を汚す主な原因であること、川を汚さないために自分たちにできることを学びました。椿川がきれいな水であることを感じた活動の後なので、より熱心に話を聞いていました。



オヤニラミなどの希少種その他、ヌマチチブ・テナガエビ・カワムツ・ドンコなどが採集されました。「学校で飼いたい」と言っていた児童も「全部、川に返してあげよう」と、川に棲む生き物の生命の大切さを学んだようです。



校長先生のお話では、オヤニラミが棲む椿川をはじめ地元で愛着をもっている地域であり、子どもたちにもその思いがしっかりと受け継がれているということでした。